

器 24 知覚検査又は運動機能検査用器具
一般医療機器 歩行分析計 (35757000)

ゲートコーダ MP-1000

【禁忌・禁止】

＜併用医療機器＞

1) 他の機器と組み合わせて使用する場合はそれぞれにアースを接地すること。

＜使用方法＞

1) 装置の近くで可燃性及び爆発性の気体を使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

本装置は、加重計ユニット、コンピュータ、プリンタ、付属品からなります。



＜品目の概要＞

計測部分にロードセルを用いることで精密は床反力の計測が可能となる。時間因子（立脚期、遊脚期など）、距離因子（歩幅、スピード）、接地時の荷重値など歩行のデータを手軽に装着して計測・分析できる。

＜構成＞

本装置は、以下のユニットにより構成されています。

- ① 加重計ユニット（送信機 + 計測靴）
- ② コンピュータ（Bluetooth 通信機能含）
- ③ プリンタ

装置の詳細な構成は、装置付属の取扱説明書を参照してください。

＜体に接触する部分の組成＞

人工皮革、ポリエステル

＜動作保証条件＞

次の条件を満たしている環境下で使用してください。

温度：-10～+60℃

湿度：10～80%（ただし、結露なきこと）

＜バッテリー駆動時間＞

10 時間

＜動作原理＞

加重計ユニットを装着して歩行を行うと、加重計ユニット内のセンサが圧力を感じし、その情報が無線伝送でコンピュータへ送られます。

それらの信号から、コンピュータは時間因子（立脚期、遊脚期）の計算を行います。

また、イベント記録機能で距離を指定することにより距離因子（スピード）の計算を行います。

各解析項目の用語の説明

時間因子

歩行の特性を表す立脚・遊脚など、時間の次元に関する要素

距離因子

歩行の特性を表す歩幅など、距離の次元に関する要素

ストライド

片側の足が着床した位置から同じ足が着床するまでの距離又は機関、2 歩の距離又は期間と同じ

立脚期

足が体を支えている期間、足が着床している期間

遊脚期

足が浮いている期間、足が離床している期間

両脚支持期

両足ともに着床している期間

スピード

歩行距離を歩行時間で割った数値

ケーデンス

1 分間あたりの歩数

装置の作動・動作原理の詳細は、取扱説明書を参照してください。

【使用目的又は効果】

＜使用目的＞

人の歩行時における時間因子（立脚期、遊脚期）、距離因子（スピード）の歩行状態を、数値化及び可視化することを目的とし、これにより、歩行の基本データが分析できます。

歩行に関連した問題の分析、評価及び矯正措置計測の支援、訓練に用います。

【使用方法等】

＜使用方法＞

1. 接地条件、使用環境条件

- ① コンピュータは、平坦な場所に設置してください。
- ② 物が落下したり、置かれたりしない場所に設置してください。

2. 使用方法

① 機器の準備

- (ア) コンピュータの電源を入れます。
- (イ) 受信可能な状態にコンピュータをセットします。
- (ウ) 送信機の電源を ON にします。

② 計測

- (ア) プログラムを起動します。
- (イ) 氏名・ID 等の検査条件を入力します。
- (ウ) 『検査開始』を選択します。
- (エ) 操作画面の表示に従い計測を開始します。
- (オ) 被験者に加重計ユニットを装着させ、歩行させ

取扱説明書を必ずご参照ください。

- ます。
- (カ) 計測が終了したら、データを保存します。
- (キ) プログラムを終了します。
- ③ 解析
- (ア) プログラムを起動します。
- (イ) 『解析』を選択します。
- (ウ) 保存したデータを選択します。
- (エ) 解析項目を選択します。
- (オ) 『解析表示』を選択。
- (カ) 解析結果が表示されます。
- (キ) 必要に応じて印刷します。
- (ク) プログラムを終了します。
- ④ 終了
- コンピュータの電源を切ります。

装置の詳細な取扱いは、装置付属の取扱説明書を参照してください。

【使用上の注意】

1. 機器の使用前の注意事項
 - ① 電気安全上必ずアースを設置してください。
 - ② 振動、水・高湿度のない計測環境を選んで設置してください。
 - ③ 電源スイッチが ON の時、電源コード、アースコード、信号入出力コード等の接続、着脱はしないでください。
 - ④ 他の機器との併用はしないでください。
2. 機器使用時の注意事項
 - ① 機器全般及び患者に異常がないか常に監視してください。
 - ② 機器及び患者に異常が発見された場合には、患者の安全を確保し、機器の使用を中止してください。
 - ③ 被験者が計測フィールドの障害物につまずくことのないように誘導介助をしてください。
3. 機器の使用後の注意事項
 - ① 計測を終了したら装置本体の電源を切ってください。
 - ② 清掃してください。
4. 他の機器と組み合わせて使用する場合の注意事項
 - ① それぞれの機器毎に、アース（接地）を取り付けてください。
5. 機器の清掃に関わる注意事項
 - ① センサユニットの清掃の際は、アルコールや有機溶剤を使用せず、中性洗剤を用い、布拭きしてください。

【保管方法及び有効期間等】

保管方法

加重計ユニットに異常な衝撃荷重、負荷がかからない場所と方法で保管してください。また、加重計ユニットに水や高湿度が及ばないように保管してください。

＜保管方法＞又は＜保管の条件＞

周囲温度：-20～+65℃

湿度：10～80%（結露、氷結のないこと）

＜耐用期間＞

5 年〔自己認証（当社データ）による〕

（但し、指定された使用環境において標準的な頻度で使用され、指定の保守点検と定期交換部品・消耗品交換をした場合の年数であり、使用状況によっては異なる場合がある）

【保守・点検に係る事項】

- ① 本体を手入れする際は、必ず電源コードやバッテリー抜いてから行ってください。機器の故障や、感電の原因になる恐れがあります。
- ② 長期間使用しなかった機器を再度使用するときは、使用前に、必ず機器が正常かつ安全に作動することを確認してください。感電や故障の原因となる恐れがあります。

＜清掃・消毒・滅菌の方法＞

アルコールや有機溶剤を使用せず、中性洗剤を用い、布拭きしてください。

＜使用者による保守点検事項＞

1) 日常点検

点検項目	点検時期
通電前に接続ケーブルに異常がないかご確認ください。	始業時
電池の残量が充分であるか確認下さい。	動作中
1 日の計測が終了しましたら、必ず充電してください。	終業時

点検の内容および方法の詳細は取扱説明書を参照してください。

2) 定期点検

点検項目	点検時期
業者による保守点検	半年ごと

点検の内容および方法の詳細は取扱説明書を参照してください。

- 2) 定期点検についても、取扱説明書を参照して行うか、弊社営業員にご相談下さい。

【主要文献及び文献請求先】

＜主要文献＞

- 1) 土屋和夫 監修 臨床歩行分析懇談会 編 (1990) 『臨床歩行分析入門』・リハビリテーション医学 Vol. 27 (1)
- 2) 窪田俊夫・山崎伸寿 (1994) ・『歩行分析データ活用マニュアル 一床反力編ー・人間科学全書

＜文献請求先＞

アニマ株式会社

電話番号 : 042-487-6111

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称】

製造販売業者 : アニマ株式会社

電話番号 : 042-487-6111

製造業者 : アニマ株式会社 本社工場

: アニマ株式会社 浜松工場

【販売業者（販売店）】

--